

1-5. 南西部景観区域

区域の概要

- 南西部区域は、枚方市を代表する観光資源のひらかたパークや淀川河川敷公園を有する区域です。京阪本線沿いには段丘崖の緑が連なり豊かな自然景観が育まれています。また、西方では住工が混在した区域と集落と田園が調和した区域が隣接しています。
- 今後は観光資源を活かしたやすらぎとにぎわいのある景観、住農工が調和した良好な景観を形成することが求められます。



■ 水面廻廊

うるおいのある水辺空間を提供する水辺のネットワーク動線



■ 出口集落

歴史的なたたずまいを今に伝える農村集落

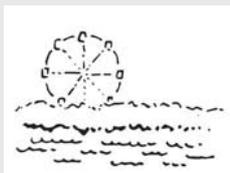
景観形成イメージ



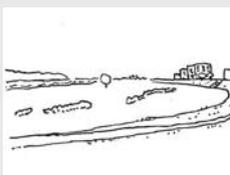
■ 区域の景観資源

淀川の四季（枚方八景）、万年寺山の緑陰（枚方八景）、光善寺（さいかちの木）、意賀美神社、出口集落、旧枚方宿、京街道、水面廻廊、淀川河川公園（ひらかた水辺公園）、坊主池公園、出口ふれあい公園、万年寺山周道、サンシャインロード、ひらかたパークなど

地域特性を活かすために



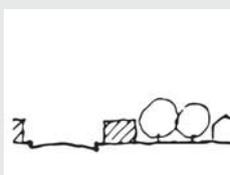
- 淀川とひらかたパーク
淀川とひらかたパークがランドマークとなっている。



- 豊かな淀川の眺望
豊かな水と緑がつくる淀川の広大なオープンスペースがある。



- 出口の集落と田園風景
出口には歴史的な風景を伝える集落や田園がある。

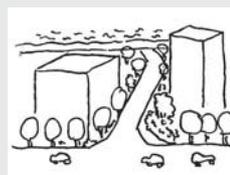


- 住工混在
幹線道路沿いに工場が立地し、背後に住宅が建っている。

やすらぎとにぎわいのあるまちをつくる

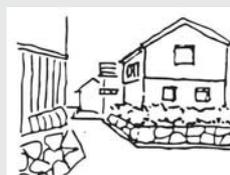


- 斜面地の緑の連続性を確保する
ひらかたパークから連なる斜面地の緑の連続性を確保する。

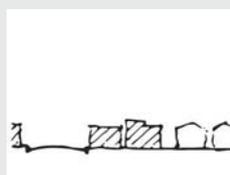


- 淀川と調和させる
対岸からの視線を意識し、建築物の顔（ファサード）を淀川に向けるとともに川へ通じる道の緑化を図る。

調和のとれたうるおいのある空間をつくる



- 集落と調和させる
集落やその周辺では、建築物の色あい、形を集落や田園の雰囲気になじませるようにする。



- うるおい空間を生み出す
工場や住宅がたがいに緑地空間を生み出すことによってうるおいをもたせる。